

亀田製菓(2220)



－ 柿の種の値上げ効果で大幅増益 －

亀田製菓が10月31日に発表した上期決算は、売上高が前年同期比2.4%増収、営業利益が同77.5%増益となりました。売上高は計画を下回ったものの、営業利益は計画を小幅に上回り、売上高、営業利益はともに過去最高を更新しています。

上期の国内の売上高は小幅に前年を下回りました。これは店頭での価格維持を強力に進めている「柿の種」を値上げし、主力商品である柿の種の販売数量が前年割れとなったためですが、値上げによる採算改善などで国内の営業利益は前年上期を5割近く上回る増益となっています。

採算重視の国内に対して海外は規模拡大を進めています。この上期も北米を中心に海外は1割余りの増収となっています。しかし、先行投資負担もあって海外事業の営業損益は赤字ですが、今期は前期より赤字額が縮小する見込みです。

新規事業では長期保存食が好調です。備蓄食料の買い替えサイクル期にあたったことと、熊本地震により需要が増加しています。新規事業の利益額はまだ小さいものの、今期の営業利益は前期比で倍増となる見通しです。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会